

No. 9

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(令和3年度 第3回)

一括審議案件に対する意見等について

【事業名】 一般国道8号福井バイパス

委員からの質問	質問について 回答
本事業に限らず、工事着手後に増額変更が生じるのはよくあることなのか？	工事着手時にピンポイントでボーリングを実施したりすることで、事前調査では把握しきれなかった地質条件などによる変更が生じることはあるので、工事着手後の増額変更が生じたりする。
地盤改良の地質条件については当初からある程度想定出来たのでは？	当初から暫定2車線側から軟弱であることは想定していたが、その想定以上に土質が軟弱かつ深くまで改良が必要なが判明したことが理由である。
整備効果として、渋滞緩和等はないのか？	既に開通している区間では主要渋滞箇所が解消され、渋滞緩和等の整備効果があったが、現在施工中の箇所は、渋滞緩和等よりも雪寒時等のアクセス向上の効果の方が大きい。
地域産業の活性化についての記述があるが、どのような効果が期待されるのか？	説明資料P9に記載しているように沿線地域に工業団地が形成された箇所がある。4車線が開通すればアクセスが向上するので、地域の活性化に繋がる。
4車線の開通済区間においても同様の地盤改良事例はあったのか？	4車線の開通済区間は盛土構造ではなかったため、地盤改良は行っていない。
切土工事の発生土の改良についても過去事例から想定はできなかったのか？	すでに開通済の暫定2車線側は、別工事からの流用土であったため、今回の切土工事の発生土改良を想定するのは難しかった。
「事業費の見直しの経緯」において当初想定時の内容を記載すると分かりやすいのではないか？	当初想定時の内容も記載する。